

令和 8 年度環境放射線等測定結果(速報)

(島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺)

【令和 8 年度 第 1 四半期】

令和 8 年 9 月
鳥 取 県

ま え が き

鳥取県では、「令和８年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）」に基づき、原子力施設周辺の環境放射線監視を実施しています。

本報告書は、令和８年４月から６月までの第１四半期の監視結果について、「鳥取県原子力安全顧問ワーキンググループ（モニタリング分野）」において検討し、確認されたものを速報としてとりまとめたものです。

目 次

まえがき

令和8年度平常時モニタリング測定結果

ページ

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1	目的区分	1
2	測定概要	1
(1)	概要	1
(2)	実施機関	1
(3)	実施内容	1
(4)	測定結果の評価方法	1
3	令和8年度測定結果（第1四半期）	6
(1)	測定結果概要	6
(2)	測定項目別の結果	9

【Ⅱ 人形峠環境技術センター周辺】

1	目的区分	17
2	測定概要	17
(1)	概要	17
(2)	実施機関	17
(3)	測定項目等	17
(4)	測定結果の評価方法	17
3	令和8年度測定結果（第1四半期）	21
(1)	測定結果概要	21
(2)	測定項目別の結果	24

【Ⅲ 参考資料】

1	環境試料中の放射性核種の検出下限（定量下限）値	28
(1)	島根原子力発電所周辺	28
(2)	人形峠環境技術センター周辺	33
2	気象測定結果	34
(1)	島根原子力発電所周辺	34
(2)	人形峠環境技術センター周辺	39
3	平常の変動幅の上限を超過した場合の要因調査等の方法	42
4	用語集	45

【Ⅰ 島根原子力発電所周辺】

1 目的区分

鳥取県における島根原子力発電所周辺の環境放射線測定は、「平常時モニタリングについて（原子力災害対策指針補足参考資料）」（以下「補足参考資料（平常時）」という。）に示す平常時モニタリングの目的のうち、次に掲げる目的において実施する。

なお、補足参考資料（平常時）の最低限実施が必要な項目には該当しないが、環境中の経時変化を把握する上で参考となる項目又は測定技術の保持が必要と考えられる項目については、「（参考）」として測定を継続する。

- ④ 緊急事態が発生した場合への平常時からの備え
- （参考）環境中の経時変化の把握又は測定技術の保持

2 測定概要

（１）概要

境港市及び米子市に設置している固定型モニタリングポストによって空間放射線の測定を行うとともに、大気浮遊じんの全 α 及び全 β 放射能濃度測定を行った。また、環境試料中の放射性核種濃度の変動を把握するために、大気浮遊じん、降下物、陸水、土壌、植物等の核種分析を行った。

（２）実施機関

鳥取県原子力環境センター
民間測定事業者（委託分析）

（３）実施内容

平常時モニタリングは、令和８年度環境放射線等測定計画に基づき実施した。当該計画の主な内容は、以下のとおりである。

ア 測定計画

表Ⅰ－２－１のとおり。

イ 測定地点

図Ⅰ－２－１、図Ⅰ－２－２のとおり。

ウ 測定方法及び測定機器

表Ⅰ－２－２のとおり。

（４）測定結果の評価方法

環境放射線等測定結果の評価は、測定項目及び地点ごとに、詳細調査を開始するための閾値として過去の測定結果より「平常の変動幅」を設定し、四半期ごとに取りまとめた測定結果が「平常の変動幅」を超過した場合には、原子力施設の影響、気象や自然放射性核種等の影響などについて要因の調査を行う。

なお、「平常の変動幅」を設定するためのデータの蓄積が少ないものについては、本調査結果に加え、全国の調査結果等を参考に評価を行う。

表 I - 2 - 1 令和 8 年度環境放射線等測定計画（島根原子力発電所周辺）

1 空間放射線

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
空間放射 線量率	④	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	NaI(Tl)シンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」

【参考】

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
緊急時用 空間放射 線量率	④	境港市外江町(外江公民館) 境港市渡町(渡公民館) 境港市竹内町(余子公民館) 境港市財ノ木町(中浜公民館) 米子市大篠津町(大篠津公民館) 米子市和田町(和田公民館) 米子市大崎(崎津公民館) 米子市夜見町(夜見公民館) 米子市彦名町(彦名公民館) 米子市旗ヶ崎(住吉公民館)	10	連続測定	—	シリコン半導体検出器 (電子式線量計)	放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環 境 γ 線測定法」

2 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能

項目区分	目的 区分	測定地点	測定 地点	測定期間	測定 件数	測定機器	測定方法
大気浮遊じん 放射能	(参考)	境港市上道町(境港局) 米子市河崎(米子局)	2	連続測定	—	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 (固定型モニタリングポスト)	放射線測定法シリーズ「大気中放射性物質 測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」

3 環境試料中の放射性核種分析

項目区分	試料	部位	目的 区分	採取地点	採取頻度		測定項目/件数			測定機器	測定方法
					頻度	採取月	γ 核種	H-3	Sr-90		
大気	浮遊じん	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」
				米子市河崎 (米子局)			12				
降下物	降下物	—	(参考)	境港市上道町 (境港局)	毎月		12			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」
				米子市河崎 (米子局)			12				
陸水	水道水	蛇口水	④	境港市上道町	3 年毎 年 2 回	5,11 月	2	2	2	γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーション カウンタ Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
				米子市河崎		R9					
		原水	④	米子市福市		R10					
植物	松葉	二年葉	(参考)	境港市幸神町	年 1 回	10 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」
				米子市夜見町	年 1 回	10 月	1				
土壌	公園	表層	④	境港市馬場崎町	2 年毎 年 1 回	R9				γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 Sr-90: 低バックグラウンドベータ線測定装置	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」 Sr-90: 放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」
	グラウンド		④	米子市河崎		7 月	1		1		
海水	海水	表層水	④ (参考)	境港市昭和町地先	2 年毎 年 2 回	R9				γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器 H-3(委託分析): 低バックグラウンド液体シンチレーション カウンタ	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」 H-3: 放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」
				米子市大篠津町地先		5,11 月	2	2			
農産物	米	精米	(参考)	米子市夜見町	年 1 回	10 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」
	白ネギ	可食部	(参考)	境港市中海干拓地	年 1 回	12 月	1				
	ダイコン	根	(参考)	境港市中海干拓地	年 1 回	12 月	1				
海産生物	ワカメ	可食部	(参考)	境港市近海	年 1 回	4 月	1			γ 線放出核種: ゲルマニウム半導体検出器	γ 線放出核種: 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器によるγ線スペクトロメトリ」
	イワギ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	7 月	1				
	セイゴ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	1 月	1				
	ナマコ	身	(参考)	境港市近海	年 1 回	3 月	1				
合計							62	4	3		

測定地点については、図 I－5－1、図 I－5－2 のとおり

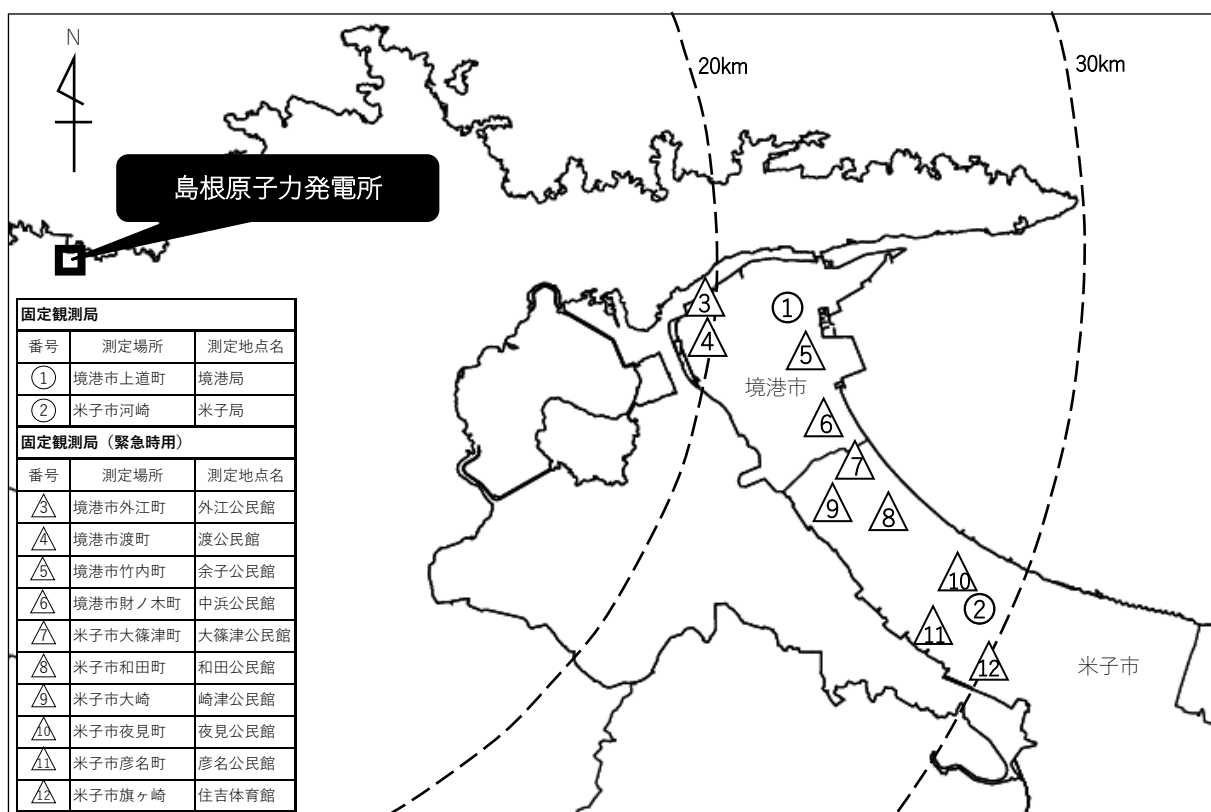


図 I－5－1 空間放射線量率測定地点

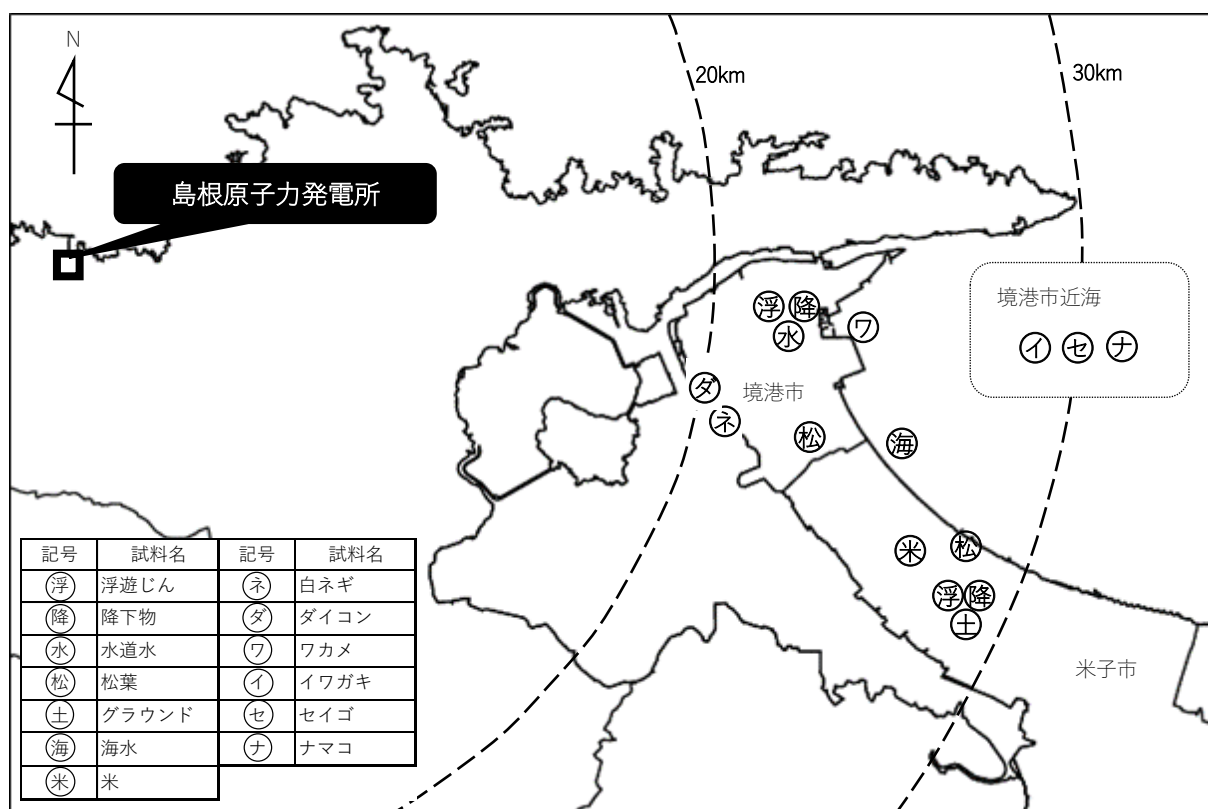


図 I－5－2 環境試料採取地点

表 I - 2 - 2 測定方法及び測定機器

調査項目			測定方法	測定機器
空間放射線	空間放射線量率	NaI 放射線量率測定装置	連続測定 放射能測定法シリーズ「連続モニタによる環境 γ 線測定法」	NaI(Tl)シンチレーション検出器 日立製作所製 MSR-R54-21545R1
大気	浮遊じん放射能	放射性ダストモニタ	連続測定 放射線測定法シリーズ「大気中放射性物質測定法」 JISZ4316「放射性ダストモニタ」 (200 L/分で3時間集じん後、3時間測定)	ZnS(Ag)+プラスチックシンチレーション検出器 日立製作所製 DSM-RC52-20089-1
環境試料中放射性核種	浮遊じん	捕集フィルター	γ 線スペクトロメトリ 放射能測定法シリーズ「ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトロメトリ」	ゲルマニウム半導体検出器 セイコー・イージーアンドジー製 GEM30-70
	降下物	濃縮物		
	陸水	水試料/濃縮物		
	植物	灰化物		
	土壌	生試料/風乾物		
	海水	吸着物		
	農産物	生試料/		
	海産生物	灰化物 ^{※1}		
	陸水	水試料	トリチウム分析	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 (委託分析により実施)
	海水		放射能測定法シリーズ「トリチウム分析法」	
	陸水	化学処理後の沈殿物	放射化学分析	低バックグラウンドベータ線測定装置 日立製作所製 LBC-4501
	土壌		放射能測定法シリーズ「放射性ストロンチウム分析法」	

※1 生試料を測定後、灰化处理して再度測定

3 令和8年度測定結果（第1四半期）

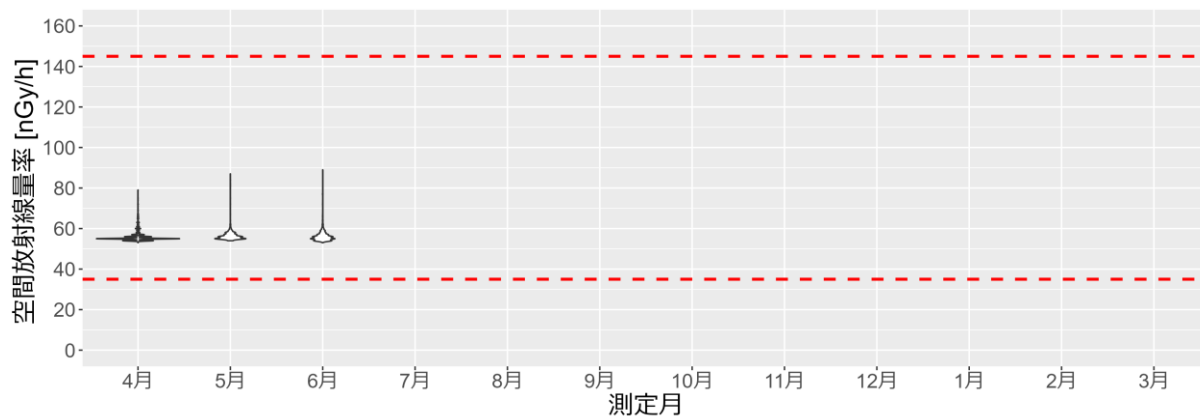
（1）測定結果概要

令和8年度第1四半期の島根原子力発電所に係る平常時モニタリング結果については、概ね過年度の測定結果と同レベルであり、原子力施設からの影響は認められなかった。

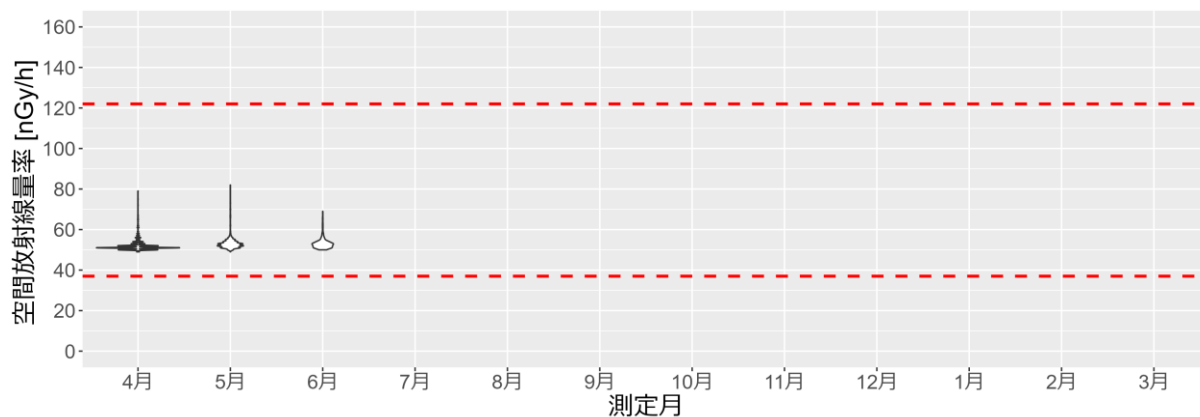
ア 空間放射線

（ア）空間放射線量率連続測定（固定型モニタリングポスト）

固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。



境港局



米子局

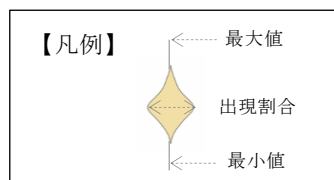


図 I - 3 - 1 a 空間放射線量率連続測定結果（固定型モニタリングポスト）

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

境港局及び米子局の大気浮遊じん全 α 放射能並びに大気浮遊じん全 β 放射能の連続測定結果は、いずれも平常の変動幅の範囲内であった。

表 I-3-1 大気浮遊じんの全 α 放射能、全 β 放射能の概要（第1四半期）

項目	測定地点	最高値	最低値	平常の変動幅	単位
全 α 放射能	境港局	1,309	19	6 ~ 1,616	mBq/m ³
	米子局	1,503	17	5 ~ 1,814	
全 β 放射能	境港局	3,454	48	18 ~ 4,729	
	米子局	3,801	48	18 ~ 4,800	

注1：200L/分で3時間集じん後、3時間測定。

注2：平常の変動幅は、R03～R07年度の5年間の最小値から最大値までの範囲。

注3：下線部は平常の変動幅の範囲外であることを示す。

ウ 環境試料中の放射性核種

(ア) γ 線スペクトロメトリー

第1四半期の分析結果は、採取した試料から測定対象物質は検出下限値未満であった。

表 I-3-2 γ 線スペクトロメトリーの分析結果の概要（第1四半期）

区分	試料数 注1	Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	単位
大気	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/m ³
降下物	24(6)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	MBq/km ²
陸水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
植物	2(0)								Bq/kg 生
土壌	1(0)								Bq/kg 乾土
海水	2(1)	ND	ND	ND	ND		ND	ND	mBq/L
農産物	3(0)								Bq/kg 生
海産生物	4(1)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	Bq/kg 生

注1：試料数のカッコ内は第1四半期までの試料数

注2：NDは検出下限値（計数誤差の3倍(3 σ))未満を示す。

(イ) トリチウム分析

水道水（1 試料）と海水（1 試料）の測定結果は、平常の変動幅の範囲内であった。

表 I - 3 - 3 トリチウム（H-3）の分析結果の概要（第 1 四半期）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
陸水	水道水	0.26	ND～ 0.47	(令和 9 年度 測定予定)	ND ～ 0.37	(令和 10 年度 測定予定)	ND～ 0.32	Bq/L
		11 月予定						

区分	試料	境港市昭和町地先		米子市大篠津町地先		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅	
海水	海水	(令和 9 年度 測定予定)	ND～ 0.18	ND	ND～ 0.39	Bq/L
				11 月予定		

注 1 : ND は検出下限値（計数誤差の 3 倍（ 3σ ））未満を示す。

(ウ) 放射化学分析（Sr-90）

第 1 四半期は、陸水（1 試料）を採取して現在測定中。

表 I - 3 - 4 ストロンチウム（Sr-90）の分析結果の概要（第 1 四半期）

区分	試料	境港市上道		米子市河崎		米子市福市		単位
		測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	測定結果	平常の変動幅 (暫定値)	
陸水	水道水	測定中	1.0～ 1.1	(令和 9 年度 測定予定)	0.73～ 0.78	(令和 10 年度 測定予定)	0.60～ 0.64	mBq/L
		11 月予定						

区分	試料	境港市馬場崎町		米子市河崎		単位
		測定結果	平常の変動幅	測定結果	平常の変動幅	
土壌	公園	(令和 9 年度 測定予定)	ND～ 0.43			Bq/kg 乾土
	グラウンド			7 月予定	ND～ 0.47	

注 1 : ND は検出下限値（計数誤差の 3 倍（ 3σ ））未満を示す。

(2) 測定項目別の結果

ア 空間放射線

(ア) 空間放射線量率連続測定

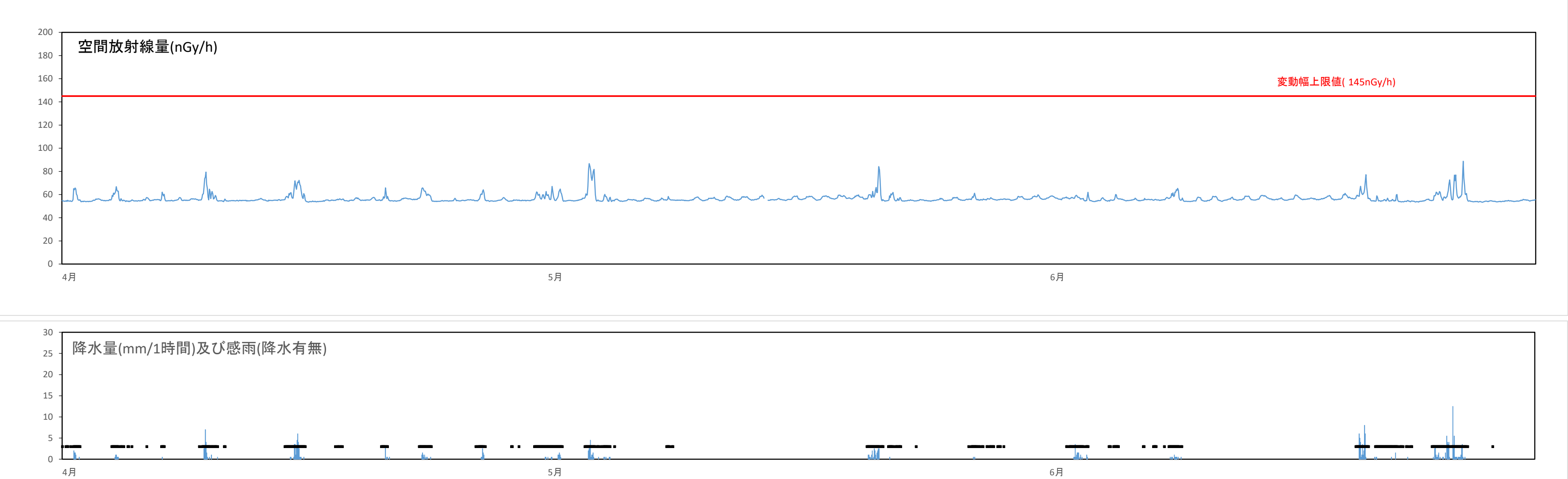
表 I－3－5 固定型モニタリングポストの連続測定結果（1時間値）

(単位：nGy/h)

地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
境港局	最高値	79	87	89											145
	最低値	53	54	53											35
	平均値	56	57	56											—
米子局	最高値	79	82	69											122
	最低値	49	49	50											37
	平均値	52	53	53											—

注1:「平常の変動幅」:前年度までの5年間(R03～R07)の最小値から最大値までの範囲。

境港局



米子局

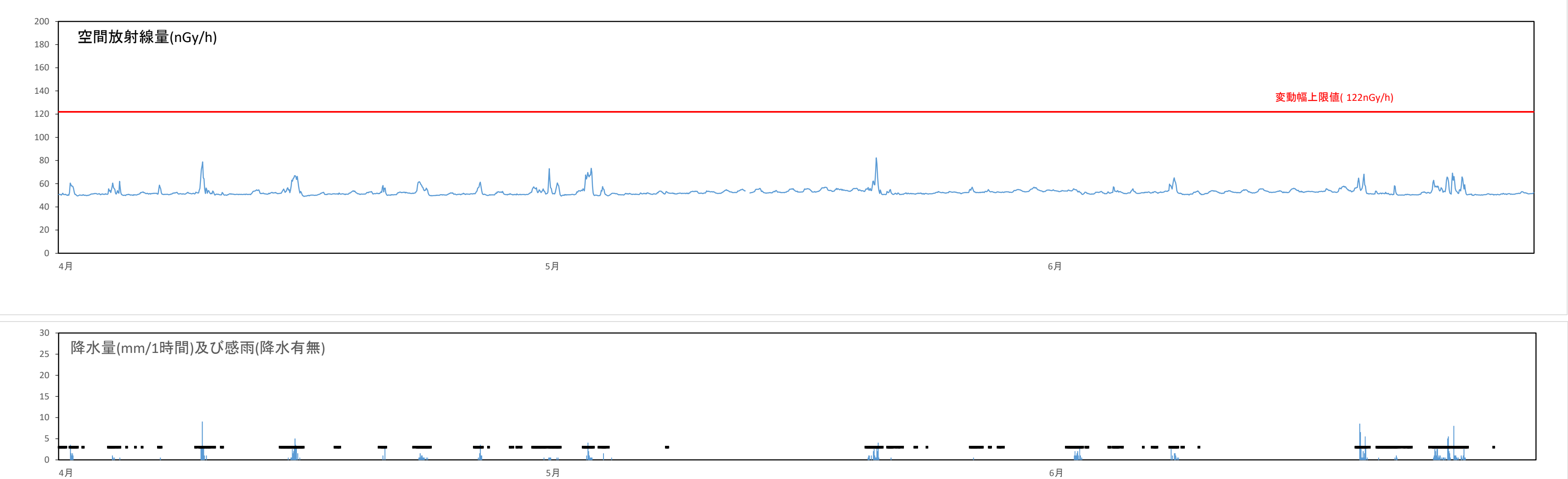


図 I－3－3a 空間放射線量率と降水量の関係(令和8年度第1四半期、1時間値)

イ 大気浮遊じん全 α 及び全 β 放射能の連続測定

表 I - 3 - 6 大気浮遊じんの測定結果

(単位：mBq/m³)

項目	地点	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	平常の変動幅
全 α 放射能	境港局	最高値	895	1,284	1,309											1,616
		最低値	36	40	19											6
		平均値	220	306	230											
	米子局	最高値	766	1,431	1,503											1,814
		最低値	20	17	20											5
		平均値	166	294	254											
全 β 放射能	境港局	最高値	2,442	3,394	3,454											4,729
		最低値	98	103	48											18
		平均値	583	816	609											
	米子局	最高値	2,021	3,701	3,801											4,800
		最低値	67	48	49											18
		平均値	436	756	648											
全 β — 全 α	境港局	最高値	3.0	3.0	2.9											
		最低値	2.4	2.5	2.3											
		平均値	2.7	2.7	2.6											
	米子局	最高値	3.4	3.3	2.9											
		最低値	2.4	2.3	2.3											
		平均値	2.7	2.6	2.5											

注1:3時間集じんし、3時間測定。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの5年間(R03～R07年度)の最小から最大値までの範囲。

ウ 環境試料中の放射性核種（ γ 線スペクトロメトリー）
（ア）大気（浮遊じん）

表 I - 3 - 7 大気（浮遊じん）の測定結果

（単位：mBq/m³）

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 （暫定値）
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町（境港局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.8	0.56	ND
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	3.2	0.47	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.2	0.48	
米子市河崎（米子局）	4月1日～4月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.5	0.47	ND ～ 0.010
	5月1日～5月31日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.5	0.34	
	6月1日～6月30日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	2.1	0.38	

注1:NDは検出下限値未滿を示す。

注2:H30年度から1ヶ月間の連続採取（H24～29年度は月1回の24時間採取）

注3:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間（H28～R07年度）の最小値から最大値までの範囲とする。

(イ) 降下物

表 I－3－8 降下物の測定結果

(単位:MBq/km²)

採取地点	採取期間	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅 (暫定値)
		Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
境港市上道町 (境港局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	73	4.4	ND
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	39	1.4	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	120	ND	
米子市河崎 (米子局)	4月1日～5月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	92	ND	ND ～ 0.48 (注3)
	5月1日～6月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	32	1.3	
	6月1日～7月1日	ND	ND	ND	ND		ND	ND	97	ND	

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米子局はH29年度に採取高を1mから3mに変更したため、「平常の変動幅」は、H29～R07年度に採取高3mで行った結果の最小～最大値を記載した。

(ウ) 陸水

表 I - 3 - 9 陸水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
水道水	蛇口水	境港市上道町	R08.05.01	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	51	ND
			(11月予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(エ) 植物

表 I - 3 - 10 植物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
松葉	二年葉	境港市幸神町	(10月予定)										0.18 ～ 0.79
		米子市夜見町	(10月予定)										0.073～ 0.18

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(オ) 土壌

表 I - 3 - 11 土壌の測定結果

(単位:Bq/kg乾土)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
グラウンド	表層	米子市河崎	(7月予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(カ) 海水

表 I - 3 - 12 海水の測定結果

(単位:mBq/L)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
海水	表層水	米子市大篠津町地先	R08.05.19	ND	ND	ND	ND		ND	ND	ND	220	ND ～ 2.1
			(11月予定)										

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

(キ) 農産物

表 I - 3 - 13 農産物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の 変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
米	精米	米子市夜見町	(10月 予定)										0.10 ～ 0.22
白ネギ	可食部	境港市中海干拓地	(12月 予定)										ND
ダイコン	根	境港市中海干拓地	(12月 予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。
注3:米は生産者の変更に伴い、R01年度から採取地点を米子市夜見町の同一地区内の別の圃場に変更した。

(ク) 海産生物

表 I - 3 - 14 海産生物の測定結果

(単位:Bq/kg生)

試料	部位	採取地点	採取年月日	対象核種							自然放射性核種		平常の 変動幅
				Mn-54	Fe-59	Co-58	Co-60	I-131	Cs-134	Cs-137	Be-7	K-40	Cs-137
ワカメ	可食部	境港市近海	R08.04.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	200	ND
イワガキ	身		(7月 予定)										ND
セイゴ	身		(1月 予定)										0.10 ～ 0.20
ナマコ	身		(3月 予定)										ND

注1:NDは検出下限値未満を示す。
注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

エ 環境試料中の放射性核種（トリチウム分析）

表 I - 3 - 15 トリチウムの測定結果

(単位:Bq/L)

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R08.05.01	0.26	ND ～ 0.47
				(11月予定)		
海水	海水	表層水	米子市大篠津町	R08.05.19	ND	ND ～ 0.39
				(11月予定)		

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間(H28～R07年度)の最小値から最大値までの範囲とする。

注3:下線部は、平常の変動幅の範囲外であることを示す。

オ 環境試料中の放射性核種（ストロンチウム分析）

表 I - 3 - 16 ストロンチウム(Sr-90)の測定結果

区分	試料	部位	採取地点	採取年月日	測定値	平常の変動幅 (暫定値)	単位
陸水	水道水	蛇口水	境港市上道町	R08.05.01	測定中	1.0 ～ 1.1	mBq/L
				(11月予定)			
土壌	グラウンド	表層	米子市河崎	(7月予定)		ND ～ 0.47	Bq/kg乾土

注1:NDは検出下限値未満を示す。

注2:「平常の変動幅」は、前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲とするが、測定開始から10年間のデータがないため、暫定値(土壌:H30～R06年度)とする。